

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科	
科目名称 [英語名称]	博物館資料保存論 [Preservation Museum Collection Theory]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	710103	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次	
教員氏名	永友 良典				学位授与の方針 との関連	DP1(1)		
授業概要	<p>博物館資料の保存について、資料の特質を理解し、様々な劣化要因を取り上げながら適切な保存環境や保存方法、資料の活用について学ぶ。さらに、資料保存の原点である正倉院宝物の保存の在り方や曝涼など伝統的な資料保存管理を学ぶとともに、空気環境等の汚染につながる化学薬品等を用いた強制的な保存から、自然環境に配慮した保存環境の確保を行う文化財IPMの活動や自然災害から文化財を守り救出する文化財レスキューの現状など新しい動きについても学ぶ。</p> <p>宮崎県総合博物館と宮崎県立西都原考古博物館で18年の勤務経験があり、文化財IPMコーディネーターの資格を有する。また、宮崎歴史資料ネットワークで文化財保全活動のボランティア活動も行っている。博物館では資料の保存業務や文化財IPMの実践、熊本地震等での文化財レスキュー活動等の実務経験を有する。以上の経験は授業概要に十分生かすことができる。</p>							
関連する科目	1年次及び2年次で履修する博物館に関する科目							
授業の進め方と方法	予習で調べた授業のキーワードを発表させる。また、授業のまとめの中から課題を課し発表と討議を行う							
授業計画	<p>第1回 資料保存概論 第2回 文化財保護の歴史 第3回 伝統的な資料保存の方法 第4回 博物館資料の特徴 第5回 博物館資料の劣化要因 第6回 博物館資料の温湿度管理 第7回 博物館資料の害虫被害と対策 第8回 博物館資料のカビ被害と対策 第9回 博物館の資料保存環境(収蔵庫) 第10回 博物館の資料保存環境(展示室) 第11回 博物館資料の修復と保存処理 第12回 文化財の生物被害対策の歴史 第13回 博物館における文化財IPM 第14回 博物館資料の災害対策 第15回 文化財レスキューと地域資源の保存と活用</p>							
授業の到達目標	人類共有の財産である博物館資料を適切に保管・管理し、活用を積極的に進めながら、後世に受け継いでいくために必要な保存方法や保存科学への理解を深め実践できるようにすることを目的とする。							
授業時間外の学修	<p>【予習】 次回の事業のキーワードを提示するので意味等を調べておくこと 【復習】 授業終了後に示す課題についてレポートを作成すること</p>							
課題に対する フィードバック	レポートにコメントする	評価方法		定期試験80点、課題提出20点				
テキスト	資料を配付する							
参考書	使用しない							
備考								